

2024年(令和6年)2月7日(水曜日)

ポリ袋で熱気球 天井まで飛ばせ

東士幌小

【音更】音更東士幌小学校(増田寛校長、児童8人)は5日、NPO教育支援北海道(帯広)の内山晶子事務局長(46)を講師に招き、ポリ袋を使った熱気球作りを同校体育館で行った。

地域学校協働活動(地学協働)の一環。児童8人と保護者、教職員ら22人が参加。初めにデモンストレーションとして、内山さんが作ってきた熱気球を同校の教員2人と飛ばした。

この後、児童らがポリ袋(横40センチ、縦70センチ)の口の中心部分から針金の先を垂らし、先端部分に綿を巻き



内山さん(左から2人目)と手作りの熱気球を飛ばす児童と教員ら

付けてアルコールを浸して火を付けて飛ばした。内山さんは「袋の口をすばめたりして熱気球の飛ぶ高さな

どがどう変化するか試してみて」と呼び掛けた。

児童らは完成した手作りの熱気球を体育館の天井付近まで飛ばして大喜び。4年生の水翔汰朗さん(10)は「高く飛んで、すごく楽しかった」と、うれしそうに話していた。

(長瀬聡美通信員)